

## L. カーン設計(1965)

カリフォルニア州ラホヤに位置する。

ポリオ・ワクチン開発者ジョーナス・ソーク博士によって設立された。現在は、癌、エイズ、アルツハイマー等の研究活動が行われている。又、ノーベル賞受賞者も多数輩出していることでも有名である。

26A(約10.5ha)の広大な敷地の中に東西を軸とし、中庭を挟み2棟の研究棟をシンメトリーに配している。1棟のサイズは250ft×60ft(約76m×18m)、各フロアの上階に階高9f(約2.7m)の配管スペースを設けている事も特徴の一つと言えよう。

外観はコンクリート打放しと窓廻りに使用した無塗装のチーク材、仕上材はほぼこの二種類のみである。太平洋に向かって45度壁軸を開くことで、海を強烈に意識させるとともにリズム感を与えている。又、この建築は中庭なしには語れない。

トラバーチンの床とベンチ、そして海へ向かってまっすぐに伸び、落ちていく一筋の水の流れのみで構成されている。

当初計画では植栽されていた中庭が、ルイス・バラガンの手により、現在のプランとなっている。

「庭」を「宇宙」とまで言う彼の強い意志を感じられた。訪れる前に少なからず感じていた冷たさなど全く無く、実に気持ちのいい静寂で満ち溢れていた。

床に刻まれたソーク博士の言葉

Hope lies in dreames, in imagination and in the courage of those who dare to make dreams into reality

